

新着図書、DVDのご紹介

平成24年3月に配架、貸出しを開始した新着図書、DVDを抜粋してご紹介します。ぜひご利用ください。なお、プラザが所蔵している図書・DVDのリストを人権推進室のウェブページ (<http://www.pref.aichi.jp/0000033209.html>) に記載しています。また、ビデオ・DVDは予約が可能です。予約を希望される場合は、人権推進室にお電話ください。(電話：052-954-6167)

図書

「DV・虐待加害者の実態を知る」

バンディ・バンクロット著

DV・虐待はなぜ繰り返されるのか。社会的通説に隠れ虐待を重ねるDV加害者の心理を暴き、その行動・手口を読み解く。被害者、加害者から逃れるためにはどうすべきか、具体策を提供する画期的な書。



「いじめられている君へ いじめている君へ」

あさのあつこ他

朝日新聞に緊急連載された「子どもたちへのメッセージ集」。松井秀喜、あさのあつこ、石田衣良、乙葉、長州小力、鴻上尚史、小柴昌俊、横峯さくら、松谷みよ子ら各界を代表する全30人が生きる意義を熱く語りかける。



「ADHDってなあに？」

エレン・ワイナー著

ベンは授業中もじっとしていられず動きまわってしまう。だから注意されてばかり。自信を失いかけていたベンは医師からADHDと診断される。ADHDの子どもが直面する問題と周囲の理解の大切さをわかりやすく伝える絵本。



「橋はかかる」

村崎太郎・栗原美和子 著

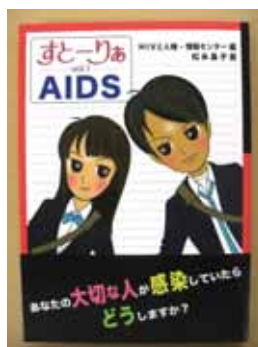
被差別部落出身であることを公表した村崎太郎。ごく一般的な家庭に育った栗原美和子。悪戦苦闘の3年間、少しずつ見えてきた希望の橋。



「すとーりあAIDS」

HIVと人権・情報センター著

フツの高校生とその周辺の青春群像物語を親しみやすい漫画で描き、どう生きるかを問いかける。若者の間に広がっているAIDSをどう捉えるか。AIDSの予防やケアなど、基本がわかる中高生のための入門書。



「親は知らないネットのヤミに 吸い込まれる子どもたち」

読売新聞社会部

プロフにさらされる個人情報、裏サイトいじめ、薬物汚染…。ケータイ画面の向こう側は、親の想像を超えた世界が広がっている。その悪意の世界をありのままに伝える迫真のルポ。「読売新聞」連載を単行本化。

